

～十人十色～

こんにちは。前回のLeavesを皆様覚えていらっしゃるでしょうか？・・・困った行動をとってしまう子ほど、実は困っている！！とお話ししましたが・・・そんなこの子たちも十人十色！みんなそれぞれ、その個性の表し方も違います。今回お話しするふたばちゃんの個性もその一部ととらえて読んでいただければと思います。そして、この広報誌にのっているお話は全てが、この狛江市の小学校に通う生徒の本当のお話です。・・・身近な人のお話だと言うことをしりながら読んでいただければ、とても嬉しいです。

～今日のふたばちゃん！！(ADHD傾向の子にありがちなお話)～

最近よくきく言葉として、皆さんADHDをご存知ですか？とても特殊なことととらえがちですが、実は子どもを見ていると、誰でも日常茶飯事に起きている出来事なのかも知れません。教室でこんな風景、見かけたことありませんか？



ふたばちゃんに悪気はなく、決して友達に対して攻撃しようとしたわけではないため、場面が変わればあっさり机をけたことなど忘れて友達と普通に遊ぼうとしたのです。

(中川信子先生の講演会資料より参照↓)

- ・ 落ち着きがなく、せっかち、忘れ物が多い
- ・ 声が大きく快活、思いつきで行動する
- ・ 予定なんてあってもないがごとし・・・

周りは迷惑・・・ (-_-)

その代わり

豊かでユニークな発想
仕事の処理が速い
たくさんの仕事を同時進行させられる

ADHDの傾向かも (*^。^*)

ADHD: 注意欠陥多動性障害

例えると、みんなの頭の中には豆電球があってその数にそんな差は無いそうじゃ。ただ、成長する中でその豆電球に電流を流すための配線工事をするのだが、その工事が人よりゆっくりだったり、つながった配線に電流を流すのが強すぎたり弱すぎたりする場合があるのが、この子たちの「困っている」の要因のひとつじゃと言われておる。

今日のふたばちゃんの頭の中と電流の流れ！

◇「みんなで集まらなければならない」
(先生の指示を守る)



非常に強く電流が流れている！

◇「机をけったらどうなる」
「先生や友人の助けを求める」
(周りに意識や注意を向け判断する)

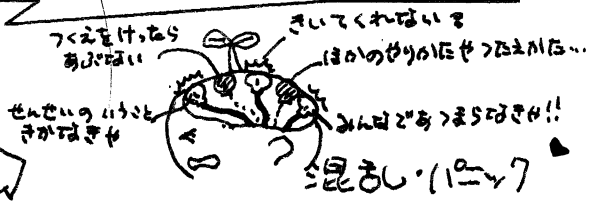
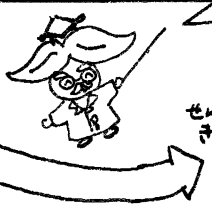


電流が弱く気づけない！！

◇気持ち⇒「やらなきゃいけないのに聞いてくれない！あ——！どうしたらいいか分からない！！」(混乱・パニック←困っている状態)

その結果、衝動的に机をけとばしてしまったのじゃ。みんな誰だって得意・不得意があるように、今日のふたばちゃんは、『ちょうど良い対応(感情のコントロール)』が、苦手なんじゃ。だが、配線がつながり電流の流れが順調になれば改善される。誰だって個性はあるように、みんなと同じ成長途中なんだと言うことを分かってくれと嬉しいの～・・・

ふたばちゃんの“困った”を無理向けて
気づくこといできなかつた部分を
ていねいにたたく
電流を流れやすくしてあげる。



電流を流れやすくする方法

ある人が言っていました。「子どものうちに色々な体験や経験をたくさんさせてあげてください。子どもはその引き出しを必要なときにあけ、上手につかいます。」と・・・もちろんこの子たちも同じです。“たくさんの人と関わることによって色々な経験を経験すること”。そして“困っている部分を「理解」して、ていねいに教えて支えてくれる人がいること”！そんな良い環境があれば、配線工事はうまくいき、電流も流れやすくなるそうです。

育てにくさを感じていたら、是非下記の場合へ相談してみてください。

- ・小学生以上・・・各学校のスクールカウンセラーまたは教育研究所(03-3430-6655)
- ・未就学児・・・あいとぴあ子供発達教室“ぱる”(狛江市社会福祉協議会)(03-3488-0294)

編集後記

今回の Leaves はいかがでしたか？何か気になることがあるならば、是非相談してみてください。相談した結果、大丈夫！と言われれば、逆に安心出来るかも知れません。そしてもしそうだと言われても、それは悪いことではありませんでした。だって、わが子がこんなふうに困っていたんだと知ってあげられたから・・・